

The Architecture Times

2022/4/25 発行 vol.71

Introduction

LINE@登録はこちらから↓



4号特例対象縮小!?

4号建築物の確認申請時における、審査を簡略化できる制度の対象が縮小される可能性が高くなってきました。省エネ化等による建築物の重量化に伴う安全性の確保の観点からも重要です。ご注意ください。

ご注意ください。急激に変動しています。



非住宅木造建築、木塀等への助成事業始まる

JAS 構造材実証支援事業（非住宅木造建築への助成）の1次募集の事業申請が4月11日から5月25日までになります。外構部の木質化対策支援事業（ウッドデッキや木塀等への助成）の概要は未発表です。昨年は1次事前申請が6月中旬頃からでした。



住んでよし しずおか木の家推進事業のリフォーム助成が4月1日～募集が始まりました。仕上げ材を40㎡使えば最大で14万円の助成額になります。

フラット35 金利3ヶ月連続上昇

金融市場の中心地・アメリカでインフレが深刻となっている影響から、2021年末頃から大きく金利が上昇しています。住宅金融支援機構によると、4月のフラット35融資金利幅（買取型、融資率9割以下、借入期間21年以上）は1.44~2.54%（前月1.43~2.35%）となりました。取扱金融機関が提供する金利で最も多い最頻金利は1.44%（1.43%）で、3カ月連続で上昇しました。融資率9割超で借入期間21年以上の場合の融資金利幅は1.70~2.80%（1.69~2.61%）最頻金利は1.70%（1.69%）で3カ月連続の上昇となりました。ファイナンシャルプランナーのマネーセミナーを開催予定です。参加希望の方は担当営業までご連絡下さい。



環境に合わせた高性能商材

日本の高断熱住宅研究会（HEAT20）が「住宅システム認証」をスタートしました。このシステムは、壁・床・天井の仕様、窓や設備の仕様などの規格をもってG1~G3の認証をする制度です。独自の仕様を個別認証できます。高断熱化の後押しと住宅事業者が自社製品の性能をアピールしやすくするのが目的です。標準仕様の作成にあたり、弊社では安価に高断熱化するのに最適な裸のグラスウールを在庫しています。ぜひ、ご活用ください。夏の逆転結露を防ぐ防湿透湿二つの機能を持つ気密シート「パリオエクストラ」と併せて施工してください。躯体を長持ちさせることができます。

昨年のウッドショックにより、木材製品の高値が続いていますが、報道されております通り原油価格の上昇によりいろいろなものが値上がりしております。ここ最近で特にラージ合板が品薄となり昨年同期の2倍以上の値段になってきました。ロシアの軍事侵攻により合板の原料であるカラマツや赤松材製品の入荷が見込めないためしばらく高値が続くと思われます。物によっては日々単価が変動しており、弊社としても情報収集と材料確保につとめておりますが、思うような入荷が見込めないため、代替材の提案をさせていただくこともございますのでご了承ください。過去に提出済の見積内容は納品を確約したものではありません。通常見積有効期限は1ヶ月とさせていただいておりますが、相場の変動が早いので、あらためまして見積有効期限をご確認いただきお早目の手配をお願いします。在庫状況も変動しており値動きも早く納期にかかるものもございますので、実行の際は弊社営業担当までお問い合わせください。

発行元: 株式会社カワイ

Homepage | Blog

Facebook | Instagram | 大工村

DIY-studio | LINE@

ICOI 不動産 & ガーデンエクステリア

売却の窓口

AI 査定

